

第3回 DMVの導入・普及に向けた検討会 議事要旨

○議事概要

資料について事務局から説明後、質疑応答及び自由討議が行われた。

○委員からの主な意見等

(地域公共交通活性化・再生法に基づく新地域旅客運送事業について)

- ・ せっかく制度があるので、使えるものは使ったほうがよい。
- ・ DMVは、地域によっていろいろな使い方が想定されるため、新地域旅客運送事業を活用する以外の選択肢もある。

(鉄道とDMVの混在運行について)

- ・ 朝夕と日中とで旅客数に差があるところでは、時間帯によって鉄道とDMVとを切り替える等といった混在運行ができないか。
- ・ 混在運行は、現状、運転保安システムを二重に持つこととなるため、コストや切り替えシステム等に課題。開発状況を踏まえた議論が必要。

(運行管理について)

- ・ 鉄道とバスとでそれぞれ運行管理体制が必要となっており、検討が必要。

(事業スキームについて)

- ・ 既存の枠組みの中で、補助や手続き等がどのようになっているのか、具体的な資料をいただきたい。
- ・ 運賃収入のみで運行コストをまかなうことが困難な地域もある。自治体が費用を負担することについて、啓発が必要。
- ・ コスト面では、バスで十分では、という話になってしまうので、「DMVだからこそ良さ」を整理する必要がある。

(バリアフリー対応について)

- ・ ハード、ソフト両面でどれだけ工夫ができるか、改めて検討が必要。

(観光振興の効果について)

- ・ クラウドコンピューティングを活用したダイヤモンドバスのような仕組みがDMVでもできないか。
- ・ 観光振興でDMVを使うなら、何らかの利益を出して本業に還元していくべきであり、今までの発想を超えた工夫が必要。

<以上>